

INDEX

◆ 所長からのメッセージ ◆

スギ花粉飛散の季節がやってきました 早めに花粉症の予防をしましょう

◆ TOPICS ◆

《審議会、検討会等》

《法令改正等》

《関係通達等》

《その他》

◆ 相談員の窓 ◆

職場とアレルギー疾患

◆ 職業性疾病発生事例 ◆

例 1 有機溶剤による中毒等

例 2 特定化学物質による中毒等

◆ 研修・セミナーのご案内 (2月・3月)

◆◇+.....+◇◆

◆ 所長からのメッセージ ◆

スギ花粉飛散の季節がやってきました 早めに花粉症の予防をしましょう

大分産業保健推進センター所長

三角 順一

1. 原因;この季節の花粉症の原因物質は、直径約30ミクロン(0. 03mm)ほどのスギ花粉であると考えられています。
2. 発症機序;この花粉が鼻から吸入され、鼻、目、気管支などの粘膜に付着すると、花粉から内容物が飛び出す。私たちの体は、花粉とその内容物を本来私たちの体内にはないもの、すなわち異物と感じ、生体が防御機能を発現し異物の花粉を取り除こうとする。花粉症の症状は、生体が異物から体を守るための盾ともいえる抗体を作り、その抗体が抗原である異物のスギ花粉と結合する反応、医学的には抗原・抗体反応(アレルギー反応)を起こすことにより発現すると考えられております。この抗体(IgE抗体)は、肥満細胞の表面に結合する。肥満細胞からヒスタミンやカリクレイン、ロイコトリエン等の炎症物質が放出され、血管は拡張しマクロファージと言う大食細胞が現れ、花粉との戦いが、激烈となる。益々炎症物質の放出量は増大し、粘膜下の組織は、細胞や花粉の残骸処理に大忙しとなります。その過程で、組織を刺激し腫れやかゆみ、充血などの症状が現れるものと考えられます。
3. 時期;スギ花粉飛散の時期は、2月から4月にかけてで、空気が乾燥し気温が上昇し始める3月が、ピークとなります。
4. 症状;鼻の症状は、鼻汁、鼻づまり、かゆみなどの鼻炎の症状、鼻のムズムズ感に伴うくしゃみの頻発等、目の症状は、眼球結膜・眼瞼結膜の充血、かゆみ、涙、瞼の腫れ等の結膜炎の症状、顔面全体の紅潮、その他頭重感あるいは、気管支喘息などとなって現れます。

気分は、不快感・憂鬱感等で、集中力を欠き、睡眠不足などで人と話しをするのが億くうになったり、仕事の能率が落ちることもあります。薬の効果が強過ぎると、喉や鼻の粘膜の乾燥感が強くなり、唾液を呑み込むことも出来なくなる人もおります。薬によっては、眠気を催すこともあります。掛り付けの医師と十分相談しながら慎重に治療を進めて下さい。

注意事項;車の運転や高所作業、その他危険物の取扱い、注意を要する監視業務等に従事する場合には、医師に伝え指導を受けることが大事です。

#### 5. 予防;

- 1) 花粉情報に注意し、外出時には、花粉防止用のマスクを着用する。
- 2) 花粉の多い時には、外出を控えるか、マスクだけでなく花粉保護眼鏡も付ける。
- 3) 衣服は、表面が平滑な花粉の付着しにくいものにする。
- 4) 帰宅したら、玄関先で衣服や頭髪についた花粉を払い落とす。
- 5) 帰宅後は、手指・洗顔・うがいを丁寧に行い、鼻腔を生理食塩水でよく洗う。
- 6) 過度のストレス・過労を避け、十分な睡眠、出来れば8時間取ることが望ましい。
- 7) アルコールは、血管を拡張するので症状を悪化させる。
- 8) 喫煙は、鼻の粘膜を傷め花粉の影響を受けやすくする。
- 9) バランスの良い食事、特にビタミン、ミネラルなどの摂取に留意し、刺激物は、避ける。
- 10) 洗濯物の取り込み等には、良く払い落したり、特に、症状が、酷い人がいる家庭では、アレルク  
リンスプレー等で固形化したりして飛散を防ぐのもよいでしょう。

以上、少しでも花粉症の予防にお役に立てれば嬉しく思います。

◆◇+.....+◇◆

#### ◆ TOPICS ◆

《審議会、検討会等》

【化学物質のリスク評価検討会ばく露評価小検討会「労働者の有害物によるばく露評価ガイドライン」】

1月15日に化学物質のリスク評価検討会ばく露評価小検討会の検討を受けて「労働者の有害物によるばく露評価ガイドライン」が出されました。(厚生労働省安全衛生部化学物質対策課化学物質評価室)

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/01/s0115-4.html>

《法令改正等》

【労働安全衛生規則第95条の6の規定に基づき、労働安全衛生規則第95条の6の規定に基づき厚生労働大臣が定める物等の一部を改正する告示】

平成22年1月1日付けで労働安全衛生規則第95条の6の規定に基づき、労働安全衛生規則第95条の6の規定に基づき厚生労働大臣が定める物等の一部を改正する告示が施行されました。(厚生労働省安全衛生部化学物質対策課)

<http://www.jaish.gr.jp/anzen/hor/hombun/hor1-2/hor1-2-193-1-0.html>

(参考)労働安全衛生規則第95条の6

事業者は、労働者に健康障害を生ずるおそれのある物で厚生労働大臣が定めるものを製造し、又は取り扱う作業場において、労働者を当該物のガス、蒸気又は粉じんにはく露するおそれのある作業に従事させたときは、厚生労働大臣の定めるところにより、当該物のばく露の防止に関し必要な事項について、様式第21号の7による報告書を所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

【労働安全衛生規則の一部を改正する省令】

平成22年1月1日付けで労働安全衛生規則の一部を改正する省令(様式第21号の7の改正)が施行されました。(厚生労働省安全衛生部化学物質対策課)

<http://www.jaish.gr.jp/anzen/hor/hombun/hor1-2/hor1-2-195-1-0.htm>

【労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令の一部を改正する政令】

平成22年1月1日付で労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令の一部を改正する政令(労働安全衛生法第55条、113条関係(石綿の規制に係る経過措置の改正))が施行されました。(厚生労働省安全衛生部化学物質対策課)

<http://www.jaish.gr.jp/anzen/hor/hombun/hor1-1/hor1-1-94-1-0.htm>

《関係通達等》

【バーミキュライトが吹き付けられた建築物等の解体等の作業に当たっての留意事項について】

平成22年1月7日付けで厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課調査官より事務連絡「バーミキュライトが吹き付けられた建築物等の解体等の作業学物質に当たっての留意事項について」が発出されました。(厚生労働省安全衛生部化対策課)

<http://www.jaish.gr.jp/anzen/hor/hombun/hor1-51/hor1-51-1-1-0.htm>

《その他》

【新型インフルエンザ対策】

次のホームページで新型インフルエンザ対策に関する最新情報が提供されていますのでご参照下さい。

- 厚生労働省ホームページ(新型インフルエンザ対策関係)

(厚生労働省健康局結核感染症課)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>

- 海外勤務健康管理センターホームページ(労働者健康福祉機構海外勤務健康管理センター)

<http://www.johac.rofuku.go.jp/>

【働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」】

厚生労働省の委託により、産業医学振興財団において、働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」が平成21年10月1日より開設されています。(産業医学振興財団)

<http://kokoro.mhlw.go.jp/>

◆◇+.....+◇◆

◆ 相談員の窓 ◆

職場とアレルギー疾患

産業保健(基幹)相談員

細川 隆文(細川内科クリニック 院長)

【アレルギーとは】

アレルギーは自分に合わないものを表す言葉として安易に使われていますが、1902年にオーストリアの小児科医である Clemens Peter von Pirquet は、生体が異種の物質と接触することにより起こる反応性の変化(過敏症と免疫)をアレルギーと名付けました。現在、アレルギー反応は五つの型に分類さ

れています。Ⅰ型(即時型)はIgE抗体が関与し、気管支喘息、アレルギー性鼻炎、花粉症、じんましんやアナフィラキシーショックが代表的な病気です。Ⅱ型(細胞溶解型)はIgG抗体が関与しており、不適合輸血、自己免疫性溶血性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、Ⅲ型(アルサス型)は循環する抗原抗体複合物である免疫複合体による組織障害で、全身性エリテマトーデス、過敏性肺臓炎などが挙げられます。Ⅳ型(遅延型)は感作T細胞により惹き起こされ、ツベルクリン反応、移植免疫、Ⅴ型(刺激型)はバセドウ病が相当します。

#### 【職場のアレルギーの特徴】

職場を形成する環境因子がその発現に関わっており、職場に限定されるのが特徴です。職業、職場、作業と関連性があり、通常、一定の期間をおいて症状が発現します。原因物質は許容濃度以下の少量でもアレルギーを発症させる可能性があります。

主な職場でのアレルギー疾患

##### 1) 気管支喘息

気管支喘息の発生率は人口の2~6%と言われています。職業性喘息はその中の2~16%を占め、成人男性喘息患者の15%程度が職業性喘息であると想定されています。アトピー性と非アトピー性に大別され、前者はIgE抗体が関与し、後者は原因となるものに対してIgE抗体が証明されず、即時型のアレルギー様式をとらない喘息であり、通常、成人で発症します。職業性喘息の原因物質は、職業に関連して接触するものが多々報告されており、植物性(花粉、孢子、木材の粉末、穀物などの粉、植物体成分)、動物性、薬剤粉、有機化学物質(イソシアネート、無水フタル酸、パラフェニレンジアミンなど)、無機化学物質(プラチナ塩、ニッケル、コバルト、クロムなど)などです。

#### 【鼻アレルギー】

くしゃみ、水様性鼻水、鼻づまりが三主徴であり、喘息発作時に一部分症状として随伴することもしばしば認められます。上述した物質が原因となり得ます。

#### 【職業性過敏性肺臓炎】

特定の職業で発症し、免疫学的なメカニズムでおこり、その原因が明らかな間質性肺炎であります。急性型、亜急性型、慢性型に分類され、急性型は原因物質の吸引から数時間で発症し、その症状は発熱、悪寒、咳、呼吸困難、全身倦怠感であり、抗原を回避することにより治癒します。亜急性、慢性型は劇的症狀はなく、咳で始まり、発熱、息切れを認めるようになります。少量の抗原の吸入持続により急性症状を繰り返しながら症状は弱くなります。亜急性は抗原から回避することにより症状は消失しますが、慢性型は肺の線維化を生じ、呼吸不全を来します。診断には肺のCTが有用です。日本の過敏性肺臓炎では夏型過敏性肺臓炎が約3/4を占め、農夫肺、換気装置肺炎、鳥飼病と続きます。原因抗原としてはカビ、細菌、孢子、鳥の排泄物、羽毛、イソシアネート(塗装工肺)、無水フタル酸(エポキシ樹脂製造者肺)などがあります。

#### 【慢性ベリリウム症】

アレルギー疾患ではありませんが、過敏性肺臓炎と紛らわしいものに慢性ベリリウム症があります。皮膚に接触性皮膚炎や潰瘍を合併してくることが多く、労作時の呼吸困難、胸部レントゲンでびまん性の粒状陰影を認めるようになります。

重要なことはベリリウムを扱う作業すなわち合金製造業、航空機用制御部品、原子炉作業、窯業、金属再生等の業務の従事者であります。特定化学物質等業務に指定されており、健康診断を受けなければなりません。

#### 【職業性皮膚アレルギー】

一次産業(農、林、漁業)、二次産業(鉱業、建設業、製造業)三次産業(サービス業)で扱われる物質に暴露されることにより発生してくる皮膚疾患で、接触性皮膚炎、光線が接触した物質に作用して起

こる光アレルギー性皮膚炎、じんましんなどがあります。よく遭遇する原因物質はゴム手袋や理容師に見られるヘアダイ、パーマ液などで、病変は手指に見られ、筆者もしばしば経験しています。

#### 【アナフィラキシー】

たまたま蜂に遭遇して刺され、ショック死したとの報道を目にすることがありますが、これはアナフィラキシーショックによるもので数分から数十分後に、急激に即時型のアレルギー反応がおこり、冷汗、血圧低下、咳、喘鳴、呼吸困難、嘔吐、下痢、じんましん、口腔粘膜浮腫、けいれん、意識障害など、多臓器に亘る症状を呈します。速やかな治療が必要です。蜂毒、そばアレルギー、ペニシリンアレルギー、ラテックスアレルギーなどが有名であります。蜂アレルギーでショック死例の半数以上は以前に蜂アレルギーを認めない例であり、要注意です。

最近ではエピペン(アドレナリンの自己注射用製剤)がアナフィラキシー発現時の補助治療を目的として使用されています。保険は適応されませんが、リスクのある人は医療機関で処方してもらうことが可能です。

#### 【まとめ】

アレルギー反応は全ての人に認められるものではありません。症状が出現するまであるいは出現しても判らない事が多々あります。職業に関連した物質、職場を含む個人を取り巻く環境に存在する物質が原因である可能性があるため、産業医を含む医療従事者に相談する場合は自分の仕事内容や取り扱う物質についても出来るだけ説明することが大切です。

◆◇+.....+◇◆

#### ◆ 職業性疾病発生事例 ◆

(2例 ー平成20年ー)

##### 例 1 有機溶剤による中毒等

#### 【有害要因】

キシレン

#### 【業種】

有機工業製品製造業

#### 【発生月】

2月

#### 【被災者数】

中毒1名

#### 【発生状況】

工場内において、製品に付いた汚れをキシレンを付けたウエスで拭き取っていたところ、キシレン蒸気を吸入し、有機溶剤中毒となった。なお、作業時に防じんマスクを使用していた。

#### 【発生原因等】

- ・ 換気設備未設置
- ・ 呼吸用保護具の不適切
- ・ 安全衛生教育不十分

##### 例 2 特定化学物質による中毒等

#### 【有害要因】

硫化水素

#### 【業種】

その他の食料品製造業

#### 【発生月】





